

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ.....	1
➤ JRRN 会員寄稿記事.....	2
➤ 「多自然川づくりサポートセンター」からのお知らせ.....	3

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

在宅勤務期間中の JRRN へのお問い合わせ 及び 「事例集第 2 集」 配布予定について

JRRN では、緊急事態宣言発令を受け、5 月末まで事務局職員の在宅勤務によるテレワークを実施中です。このため、在宅勤務実施期間中のお問い合わせ等につきましては、JRRN 事務局のメールアドレス (info@a-rr.net) までご連絡をよろしくお願ひ致します。

本誌 4 月号でもご案内の通り、今年度は、2017 年度までシリーズ開催してきました「小さな自然再生現地研修会」の続編として、全国で 3 回の現地研修会開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、現地研修会の開催時期や開催地は現時点で未定ですが、在宅勤務実施期間中も現地研修会の開催に向けた企画と準備を進めてまいります。

なお、JRRN が運営する各種情報媒体を通じて川づくりに関わる最新の情報や過去のアーカイブスをご覧いただくことができますので、ご活用頂ければ幸いです。

また、JRRN 事務局職員の在宅勤務に伴い、昨年度に（公財）河川財団の河川基金より助成を頂き制作した「できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生事例集 第 2 集」の希望者配布を現在保留しております。合わせて、原稿執筆をはじめ本事例集の制作にご協力頂きました皆様への送付も着手できていない状況です。

在宅勤務の解除後、JRRN 及び小さな自然再生のウェブサイトを通じて、本事例集の印刷・製本版を希望される皆様への申込受付を開始いたしますので、もうしばらくお待ちください。

なお、本事例集の電子版（PDF 版）は以下のウェブサイトよりダウンロード頂くことができます。個別の記事や事例毎の閲覧も可能ですので、ご興味のある方は是非ともご覧ください。

- 「できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生事例集 第 2 集」 電子版の入手はこちらから

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1127.html>

JRRN が運営する情報媒体一覧

- JRRN ニュースメール（毎週月曜配信）
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/newsmail/>
- JRRN facebook
<https://www.facebook.com/JapanRRN>
- 小さな自然再生 facebook
<https://www.facebook.com/collaboriver/>
- 桜のある水辺風景 facebook
<https://www.facebook.com/sakuramizube/>
- JRRN ウェブサイト
<http://www.a-rr.net/jp/>
- 小さな自然再生ウェブサイト
<http://www.collabo-river.jp/>
- JRRN ニュースレター（毎月発行）
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/newsletter/>
- JRRN YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCjXQC5OjJvNFFywaZU2K6jA>



配布待機中の「水辺の小さな自然再生事例集 第 2 集」

(JRRN 事務局・和田彰)

水辺からのメッセージ No.132

岡村幸二 (JRRN 会員)

鞆港の常夜灯： かつて北前船の立寄りで賑わい 文化の寄港地としての日本遺産に



撮影：2019年11月（広島県福山市鞆町鞆）

◆朝鮮通信使もたびたび寄港

潮待ちの港として古くから万葉集にも詠まれ、江戸時代に北前船の寄港地としても栄え、朝鮮通信使も幕府の慶賀などのために度々寄港。2018年、鞆の浦の港町文化をテーマとしたストーリー「瀬戸の夕凧が包む 国内随一の近世港町～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～」が日本遺産に認定。

◆鞆港のシンボル

鞆港常夜灯は江戸末期(1859年)につくられた船の出入りを誘導してきた灯台で、高さは5.5m、海中の基礎から宝珠まで11mあり、現存する江戸時代の常夜灯としては日本一の大きさです。

■ 連載『水辺からのメッセージ』のバックナンバーはJRRNホームページ内の以下のページよりご覧いただけます！

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/category/mizube>

「多自然川づくりサポートセンター」からのお知らせ *Nature-oriented River Management Support Center*

※『多自然川づくりサポートセンター』は、多自然川づくりについての技術的な支援、市民との連携の強化、気軽な相談窓口、情報の共有等を担い、(公財)リバーフロント研究所が事務局を務めています。JRRN は多自然川づくりサポートセンターと連携して川づくりの推進に取り組んでまいります。

「大河川における多自然川づくり-Q&A 形式で理解を深める」が一部改訂されました。 Q&A 集の各章を紹介するセミナー動画も随時公開されています！

多自然川づくりサポートセンター事務局

■「大河川における多自然川づくり-Q&A 形式で理解を深める」一部改訂



大河川における多自然川づくり-Q&A 形式で理解を深める 一部改訂版

2017年6月に示された提言「持続性ある実践的多自然川づくり」を受けて設置された「多自然川づくり技術検討会(大河川ワーキンググループ)」による検討成果として、大河川における多自然川づくりの解説書「大河川における多自然川づくり-Q&A 形式で理解を深める」が2019年3月に公開されています。

この度、「実践的な河川環境の評価・改善の手引き(案)」の活用方法や河道内樹林が再繁茂しにくい施工・維持管理方法等が追加・更新された一部改訂版が公開されました。

- 名称： 大河川における多自然川づくり-Q&A 形式で理解を深める 一部改訂版
- 発行： 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課
- 発行年月：2020年3月
- 詳しくはこちらから
<http://jp.a-rr.net/jp/news/latest/1674.html>

■ Q&A 集の理解を深めるセミナー動画が随時公開中 (国立研究開発法人土木研究所自然共生研究センター)

左記 Q&A 集の各章概要を紹介するセミナー動画が、土木研究所自然共生研究センターより随時公開されています。



◇ Q3-1 セグメントごとの土砂動態

(岐阜大学流域圏科学研究センター 原田先生)

https://www.youtube.com/watch?v=6_Mv10JKHA&t=26s

◇ Q5-2 高水敷掘削の掘削高さ (同上 原田先生)

<https://www.youtube.com/watch?v=ZzBAvruy08w&t=14s>

◇ Q6-1 水辺利用 (高水敷整備)

(土木研究所河川生態チーム 鶴田研究員)

https://www.youtube.com/watch?v=QsabsWLR_Rs

また、同じく土木研究所自然共生研究センターのyoutubeサイトでは、多自然川づくりの基本を理解する動画の第一弾として、「中小河川が多自然川づくり」として5分×3回の動画が公開されています。

◇ 中小河川が多自然川づくり その1

<https://www.youtube.com/watch?v=JUPCZTAYVuA&feature=youtu.be>

◇ 中小河川が多自然川づくり その2

https://www.youtube.com/watch?v=_UF8nALg9r8

◇ 中小河川が多自然川づくり その3

<https://www.youtube.com/watch?v=jRQ4GN0vayE>

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

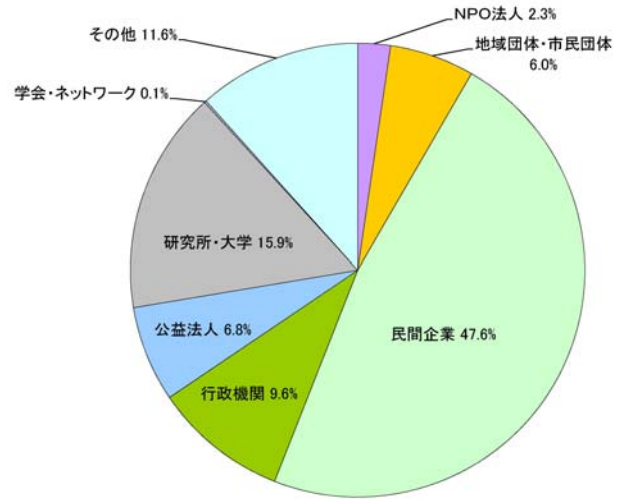
会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2020年4月30日時点の個人会員の所属構成
 (個人会員数：801名、団体会員数：60団体)
 ※4月の新規入会数：個人会員1、団体会員0

JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所 内



E-mail: info@a-rr.net ※2020年5月末まではE-mailのみとさせていただきます。

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>